

■After 建築名称 下段:英語名	Hayama NEST		建築URL		
建築用途	大分類 住居	小分類 週末住宅/シェアハウス			
設計者	高橋良弘/333architects		<a href="#">設計事務</a>		
所在地	神奈川県三浦郡葉山町		Google M		
改修年	2025年	元建築の竣工年			
建築規模 構造・階数・面積	建築面積:126.54㎡				
掲載書誌					
賞・選定					
主な関連法規、条例、助成金等					
関連組織等					
資料等			資料のURL		
■Before 建築名称	民家		概要 before	接道義務を満たしていない関係から、解体し再建することが不可の敷地に建つ建物	
建築用途	大分類 住居	小分類 住宅			
■写真 Before	再建築不可で使われなくなった古家と広い庭	After	生活と設計の実験の場として再生	After	内装には、解体現場からレスキューした障子・木ガラス戸や仕上げ材を活用
					
撮影者 提供者	提供:333architects	撮影者 提供者	撮影:UJO PHOTOGRAPHY 提供:333architects	撮影者 提供者	撮影:UJO PHOTOGRAPHY 提供:333architects
■関連タグ/リノベーションキーワー	セルフビルド				
■リノベーション内容	<p>&lt;333architects 資料より&gt; 規格木材を用い、設計者自身がDIYで段階的に手を加え続ける平屋の改造計画である。再建築不可の古家に対し、壊すのではなく修復し、住みながら育て続ける建築の有り方を実践している。必要な部材だけを交換・補修しながら、既存の骨格を最大限活かして、設計と施工を生活と並行して繰り返し、完成を前提としないあり方を実践している。</p> <p>素材にはホームセンターで入手可能な既製品の規格木板(厚さ30mm、幅200mm、長さ2m)を使用しビス留めによる簡易施工・分解・再生が可能なディテールを採用。加えて、解体現場から得た障子・木ガラス戸・無垢材等を積極的に再利用し、サーキュラーデザインの考え方を、日常の設計と施工のプロセスに組み込んでいる。</p> <p>木板のテラス・ステージ・ベンチを新たに配し、内外を滑らかに巡る生活動線を形成。暮らしの実感と共に動線や居場所を柔軟に調整しながら、光や風、子供の動きに呼応し空間を更新し続けている。小さく足し引きしながら育て続ける、新しい設計プロセスの実験である。</p>				
■備考	<p>ブリコラージュの手法・使いながら設計し作り続ける。 ブリコラージュ:[フランス bricolage] [素人の手仕事の意] 手近なものを何でも利用し作業すること。</p>				
■作成者 氏名/所属	桐原武志 Free/JIA再生部会	作成協力者	高橋良弘/333architects	整理番号	No216